



はやく大きくなーれ（産湯海岸にてクエの放流）

# 議会だより



小さな冊子にあふれるニュース

第119号 平成21年10月23日

## 町有財産の有効利用

20年度決算 2p

## ちょっと待った!!

志賀保育所の民間委託 5p

## 下水道汚泥のリサイクル

委員会レポート 8p



【発行】 日高町議会 〒649-1213 和歌山県日高郡日高町大字高家626

【編集】 議会広報特別委員会 TEL (0738) 63-3810 Eメール gikai@town.wakayama-hidaka.lg.jp

# 20年度決算認定

# 行財政改革での現実維持型予算 住民ニーズに応えたか!?

**一般会計歳出決算 35億5,369万円**  
**特別会計歳出決算 15億5,664万円**

### 主な特別会計歳出決算額

|             |           |
|-------------|-----------|
| 国民健康保険特別会計  | 2億4,555万円 |
| 老人保健特別会計    | 1億1,374万円 |
| 下水道事業特別会計   | 5億4,149万円 |
| 介護保険特別会計    | 5億2,574万円 |
| 後期高齢者医療特別会計 | 1億3,012万円 |

## 水道事業会計

営業収益・営業外収益から営業費用・営業外費用を引くと1,096万円の黒字決算である。

|        |                         |
|--------|-------------------------|
| 給水戸数   | 3,175戸 (35戸の増加)         |
| 給水人口   | 7,783人 (23人の減少)         |
| 年間総給水量 | 79万2,692t (1万8,743tの減少) |

(平成21年3月31日現在)

平成21年第3回定例会は9月10日から9月18日までの9日間の会期で開催した。今定例会では平成20年度一般会計、特別会計の決算を認定。  
 また、平成21年度関係、諮問1件、議案7件、報告1件が提案され、慎重審議の結果、原案のとおり同意可決した。

## 監査委員の意見

### 審査の意見

決算の財政事情を見ると、依然として依存財源による財政事情には変わりない中で、財政健全化計画に基づく行政運営を行い、住民福祉の向上に寄与されるよう望むものである。

### ・予算執行について

予算は、目的をもって計上し、執行するものであるが、不用額が生じているものも見受けられた。当初の目的を達成すべく最大限の努力を望むものである。

### ・町有財産の有効利用について

町営駐車場を含めた町有財産の有効利用を図るとともに、町道等の無登記財産の解消に努められたい。

### ・老人福祉対策

デイサービス事業等の委託事業について、利用者の増加につなげるため、一層の努力を望むものである。

### ・水道事業について

今後の維持管理を考慮したとき、収入源である使用料の増収を図る必要がある。  
 効率運営を図るとともに、接続率の向上に努められたい。

# 20年度決算質疑

## 一般会計

ている状況である。

**問** 保育料の収入未済額、通園バスの収入未済額の状況と今後の見通しは。

**住民福祉課長**

保育料については、2名であり、4カ月分と5カ月分である。

通園バスについては、1名で5カ月分である。遅れながらも入金され

**問** 県地方税回収機構負担金を出すことにより今年度の税収はいくらになっているのか。

**税務課長**

ヒヤリングは毎年6月であり、7月から3月までで199万2262円、そして今年に入り4月から6月分で96万9652円である。

## 教育委員会委員

教育委員会委員に糸谷竝治氏(再)、吉田隆一氏(新)を任命することに同意した。



吉田 隆一 氏  
(高家)



糸谷 竝治 氏  
(産湯)



デイサービス利用風景 (ふれあいセンター)

**問** 介護認定を受けていない人のデイサービス、社協での利用者が31名に対し、20年度では9名と大幅減少している状況についてどのように考えているのか。

**住民福祉課長**

今後社会福祉協議会と十分な話し合いを持って、利用者の増につなげたい。

**問** 経常収支比率が高いほど一般財源に余裕がないということだが、95・

4と昨年より若干であるが2・9ポイント下がっているその要因は。

**総務政策課長**

普通交付税の大幅な増額が大きな要因となっている。

**問** 監査委員の審査意見書の中に、町営駐車場を含めた町有財産の有効利用を図るとともに、町道等の無登記財産の解消に努められたいとあるが、今後どのように取り組むのか。

**問** 監査委員の審査意見

書の中に、町営駐車場を含めた町有財産の有効利用を図るとともに、町道等の無登記財産の解消に努められたいとあるが、今後どのように取り組むのか。

**総務政策課長**

町営駐車場、町有財産については今後有効活用を図り、効率運営に努める。

**産業建設課長**

今年度で地籍調査等業務が完成するので、22年度より事業計画を立てて取り組む。

## 特別会計

### 国民健康保険

**問** 不納欠損は何件か。

**税務課長**

平成10年度から平成17年分で14件の10名である。

**問** 不納欠損や、あるいは収入未済額との関係で資格証明書の発行、短期保険証の発行、また、地方税回収機構への送付などの状況はどのようになっているか。

**問** 不納欠損や、あるいは収入未済額との関係で資格証明書の発行、短期

保険証の発行、また、地方税回収機構への送付などの状況はどのようになっているか。

**税務課長**

資格証明書は9件、短期証は6件、回収機構へは8名である。

### 下水道事業

**問** 監査委員の意見書に

も今後の維持管理を考慮したとき、収入源である使用料の増収を図る必要がある。

効率運営を図るとともに、接続率の向上に努められたいとするが、今後どのように取り組むのか。

**上下水道課長**

未接続者に対しては、各個別訪問を実施しながら接続率の向上に努める。

**問** 集落排水施設維持管理委託料、浄化槽維持管理委託料の内容は。

**上下水道課長**

処理施設の維持管理と汚泥の引き抜き、浄化槽については槽の補修、維持管理と汚泥の引き抜きとなっている。

**問** それぞれの委託先は、上下水道課長 合併浄化槽の維持管理委託先については日高環境サービスと(有)タカミに委託している。

又、集落排水処理場の管理については日高環境衛生協同組合に委託している。

# 21年度補正予算

## 一般会計

既定の予算額に1億9339万5千円を追加し、総額35億8544万円とする。

主な内容は、子育て応援特別手当費977万4千円、国保日高総合病院負担金2774万8千円、農地有効利用支援整備事業費974万9千円、逍遙の森環境保全事業委託料1534万3千円、田杭海岸保全施設整備工事および小浦川水門測量設計で3035万円、道路施設機能確保工事費1千万円等。

## 人権擁護委員

人権擁護委員に前田智教氏、楠原晃紹氏を引き続き推薦したいと議会に意見を求められ、議会は適任とする答申をした。



前田 智教 氏  
(小浦)



楠原 晃紹 氏  
(志賀)



整備が待たれる逍遙の森（西山）

**問** 子育て応援特別手当と女性特有のガン検診、この具体的な進め方は、**住民福祉課長** 子育て応援特別手当については、政権が変わって微妙なところがあるが、3〜5歳児で229名が対象である。子宮ガンについては、20歳、25歳、30歳、35歳、40歳を対象で220名、乳ガンについては、40歳、45歳、50歳、55歳、60歳で265名が対象者となっている。

**賛成討論** この補正予算に含まれる内容は、農地有効利用支援整備事業等、自民党政権の間に出された様々なものが入っている。しかし、民主党政権に変わった今、非常に不透明な状況にある。スムーズな行政運営ができるよう、町村会を挙げての働きかけを要望し、賛成討論と致します。  
山本 善啓 議員

**問** 逍遙の森、環境保全緊急雇用対策の詳細説明を。**産業建設課** 落札した業者の従業員が2名、それに6人を雇用し、4人を一組にして2班体制で半年間をかけ、逍遙の森を整備していくとこのことである。

## 条例制定

### 日高町農地有効利用支援整備事業分担金徴収条例の制定

施設管理の省力および耕作放棄地の未然防止のために必要となる農地や農業水利施設等の簡易な整備について、今後の自給力強化のために支援する事業で、事業の施工にあたり、受益者から事業に要する経費の22.5%以内の分担金を徴収する条例。

**問** この事業の詳細説明を。**問** この事業は単年度事業か。**答** 今後の見通しは、

**産業建設課長** 今年度から国の交付金事業として、限度額200万円を超えない小規模土地改良事業で、国が55%、残り町が2分の1、受益者が2分の1を負担して実施する事業である。この事業は平成21年度から平成23年度までであると聞いていますが、今、政権が変わり、廃止になる可能性もある。

## 農業委員の推薦

第2回臨時会において、日高町農業委員会委員に、議会から次の方を推薦した。

- 稲葉 直美 氏 (志賀)
- 白井 隆 氏 (小池)
- 武内 敬治 氏 (小坂)
- 森下 重治 氏 (産湯)

# 未来をきずく

## Q & A いっぱん質問

### 民営化をすすめるようとしている志賀保育所

### 町長 十分話し合いを持つ

市ノ瀬 進 議員



委託については十分な内容は調査していない。担当課の方もそこまで勉強していない。

**問** 志賀保育所の委託を現在の派遣職員で運営しようと考えているのか。

**町長** 現在、派遣保育士は、志賀保育所に9名、内原保育所に5名、比井保育所に1名の計15名の派遣保育士が勤務しており内原・比井の派遣保育士を全員志賀保育所に配置換えし、保育業務を運営する計画である。

今回の志賀保育所の保育業務を民間に業務委託する方式についてNPM手法の導入であり、公設公営下での保育業務委託方式を採用することにより、町の保育方針が保たれる。

民間保育所が常に実施している土曜日の平常保育や休日保育、早朝、延長保育時間の拡大、0才児保育定員枠の拡大等、

保育サービスの充実が柔軟に対応できる。

業務を委託方式に移行するが、町が監督指導を行っている。

**問** 大新東ヒューマンサービスの会社は保育所運営の実績はあるのか。

**町長** 大新東ヒューマンサービスは宮城県の大崎市で4市町で行っている。宮城県の多賀城市、千葉県の四街道市、佐



民営化？ 志賀保育所

賀県の江北町、福岡県の新宮町での実績があり、志賀保育所と同程度の規模の実績である。

**問** 4市町で保育運営委託している。

**町長** しかし、その内容を調査されているのか。4市町で保育運営

**問** 平成19年度より臨時保育職員を派遣会社に移行させ保育運営を行ってきたが、平成22年で労働者派遣法で派遣切れとなるため、志賀保育所の運営を民間委託をしようと考えているが、現在派遣職員15名プラス12名の組織で運営をしようと考えているが可能か。

**町長** 内原、比井、志賀保育所については担当者ともいろいろ考えているが、今後は議員の皆さんと十分話し合いの場を持ち、よりよい方向に相談したいと思っている。

### NPM手法とは

ニュー・パブリック・マネジメント(NPM)とは、民間企業における経営理念・手法、成功事例などを可能な限り行政現場に導入することを通じて行政部門の効率化・活性化を図る手法

玉置 正之 議員

# 阿尾不毛の活用方策は

## 町長 県の協力で公園整備



年々狭くなる阿尾不毛の沼地

**問** 湿地の周辺にはアシが一面に生育し、沼の水が年々狭くなっているように思う。

また、多くの生物が生息しているということですが、観察する場所もない。県道側面の草刈り等や

周辺の管理に費用が掛かり町の重い財政負担になり宝の持ち腐れになると思うが。

**町長** 県から「今後、町からの具体的な要望も踏まえつつ、県内における優先順位を検討し公園事業の整備を中長期的な視

野から進めていく」との説明があり、有効利用に一步前進があったと考えている。

また、公園利用を図る際、町の財政負担にならない方法をお願いしている。

### 当町の教育

**問** 当町子供たちの学力・体力の向上方策は。

**教育長** テストの結果を踏まえて、来年度の教育計画等に反映させるよう指導していく。

また、学力向上支援として授業研究を通して、授業改善を図り、小中が連携し、児童生徒の学力向上に取り組んでいく。

**問** 調査は学力のごく一部であると教育長は申されたが、国語、数学は一番重要な科目であると思うが。

**教育長** 学校を卒業して将来社会の中で生活していく上では、国語と数学は大事だと思う。

**問** 中学校全国体力テストの結果、和歌山県は47都道府県中男子46位、女子44位であり、当町も同じだと思われませんが、なにが要因かきちんと分析し、早期に全国水準まで、引き上げる対策は。

**教育長** 体力づくりについては、大きな目標のひとつにいれていますが、更に充実した取り組みをするように指導する。

### 学童保育

**問** 当町では現在まで、怪我や事故等はなかったか。

**教育長** 2件の事故がありました。適切な対応をいたしました。

**問** 指導員はAEDに対応できているか。

**教育長** AEDの取り扱いには、当町の職員、指導員も受けている。

**問** 怪我対策等はこのように考えているか。

**教育長** 大新東ヒューマンサービスが、応急処置・医療機関への移送等怪我をした児童への対応に加え、保護者や教育委員会への連絡等をフォローチャート形式でマニュアル化している。

またどの指導員も最善の対応ができる体制を整えている。



西岡 佳奈子 議員

## 行政の責任者は町長

町長 住民の幸せのため全力で

**問** 保育所の民間委託や風力発電問題、産湯海水浴場の取り組みなど、大事な問題、切実な問題に正面から責任を負うことを避けていると感じるが。

**町長** そう感じられていることについては、私の力不足。叱咤激励と捉まえ、謙虚に反省している。住民とともに歩んでいくことが本来の行政あり方であり、お互いが求めているものをお互いに理解を深めていくものであると考えている。

**問** 保育所の民間委託方針では、委託することでサービスの充実を図れるといわれている。裏返せば、町の運営では、サービスの充実ができないと、自らの能力を否定してしまっている。何故、できないと考えるのか。

**町長** ニーズにあった保育行政を進めていく上では、この方法が一番良いという結論に達し、計画をしているところである。

**問** 今年の夏の産湯海水浴場については、緊急避難的に議員有志による運営をおこなった。

**町長** 私なりに調査させていただいた。状況など産湯海水浴場の状況を把握して、来年度に向けて考えなければならなかったと思うが、そうされたか。

**町長** 町長、また担当課が、来年度に向けてのことを、本当に考えられていたとすれば、もう少し対応が違ったのではないか。住民とともに歩んでいくということ、町が責任を転嫁するということが一緒になっては問題である。

**町長** 町長に責任を持つのは町長であるということ、これを大事にして、これからの行政に当たっていただきたい。

**町長** 住民の幸せのために今後も全力をあげて取り組んでいく。

## 学童保育

### 新たな場所の確保を

**問** 学童保育が始まって2年が経過したが、実績は。

**教育長** 19年度は7名、20年度は19名、今年の夏は。

**問** 休みには30名の利用があり、喜ばれている。

**教育長** 問題点や課題は。現在の場所では

定員30名が限度であり、今後、希望に添えないことも考えられる。また、遊ぶ場所がなく、農改センターを使用して

**問** 今後の利用意向をどう考えられているか。

**教育長** 希望が増える可能性があると考えている。

**問** 現在の場所ですれ以上の受け入れは難しい。

新たな方法を考えなければならぬと思うが。

**教育長** 執行部とも十分相談、検討したい。

**問** 町長にも学童保育施設の場所を確保するための検討をお願いしたい。

**町長** 少子化対策の一環として、前向きに取り組みたい。

—その他の質問—  
住民参加の町づくりへの取り組み



手狭になってきた学童保育

# 委員会レポート

## 総務福祉委員会

委員会は8月27日、由良町が取り組んでいる下水処理場から出る汚泥の堆肥化についての研修を行った。

実施する大引、神谷処理施設はまだ建設中であり、当日は役場会議室で事業についての概要説明を受けた。

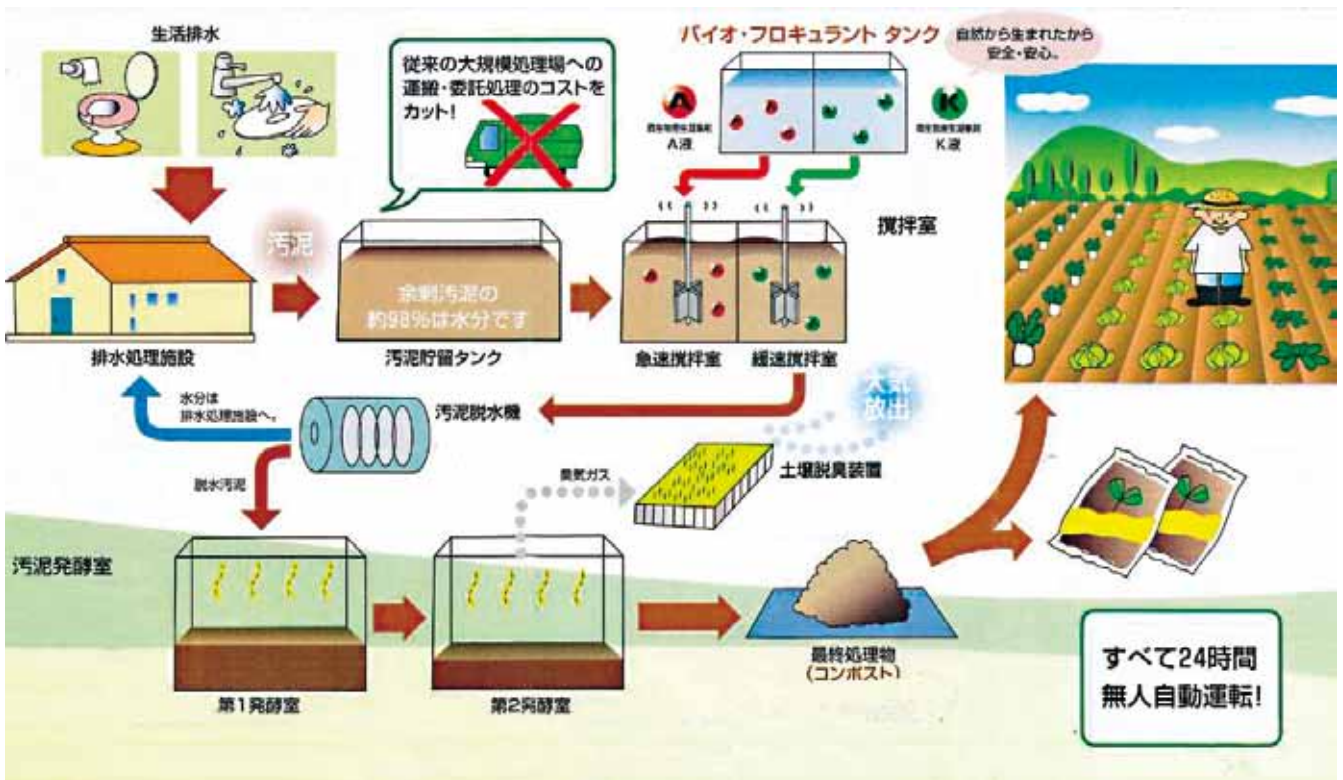
当施設は平成22年稼働予定で、接続率が上がり、尚かつ、汚泥が確保できしだい、順次堆肥化に取り組んでいくとのことである。

発酵乾燥装置を取り入れれば接続率に関係なく汚泥の処理費用を削減出来るかと判断したとのこと。

堆肥化した肥料の扱いについては、生産量や肥料としての許認可のこともあり、今の段階では販売を考えてなく、業者に引き取ってもらうとのことである。

委員会としては、リサイクルまた経費削減の面でもこのような考え方を町に深めていただきたいとの意見で一致した。

由良町が、この事業を取り入れた最大の目的は、汚泥の処理費用を削減することにあり、それにはどのような方法があるのか検討をかさねた中で、判断の理由については、通常の重力濃縮では、接続率が上がれば上がる程1立方メートル当たり1万5千円の汚泥の処理費が増えていくが汚泥脱水



## 編集後記

落語家、桂枝曾丸さんが、紀州弁をおもしろおかしく語って、人気を得ている。あでうとか、ずつないそーやししょ あがでにとかは、標準語ではないがこの辺で住んでる人には十分通用する。

しかし最近の言葉には理解出来ない言葉が多すぎる。超ヤバとか、ぜんぜんおいしいとか、否定しているのかと思うが、そうではないらしい。

又簡略語も我々には、わかりにくい。

そんなことを考えながら、本誌の編集作業をしています。言葉には十分に気をつけ、わかりやすく、簡潔にまとめ、皆様に喜んで読んでいただける議会広報になるよう今後も頑張っています。

清水 正巳